

つつむ、つなぐ、つくる

みんな仲良く、元気で幸せに暮らす小布施を、ごいっしょに。

市村良三は、40年近くまちづくりを進めてきた小布施のみなさんの智慧と汗、思いをひきつぎます。民間企業の経営とまちづくりの現場で培った経験や発想、多くの人々とのつながりを、小布施のまちづくりに生かします。みんなが参加して、なんでも話し合い、かかわる人すべてが幸せになれる小布施にしていきたいと思います。



いちむらりょうぞう
市村良三

いちむらりょうぞう

市村良三はお約束します。

つつむ

《福祉、医療、教育》

少子高齢化時代を迎えて、安心して生み育て、元気に年を重ねられる町になるよう、住民みんなでごくくしながら、厳しい財源を工夫して有効に生かしてまいります。

◎女性いきいき

結婚、出産、育児の過程で、男女のパートナーシップによってお互いを思いやる文化を育て、とくに女性が能力を生かしていきいきと社会参加ができる施策を行います。共働き家庭の育児を援助する施設やボランティア組織を、より充実させます。

◎子どもすくすく

小布施は人が資源です。つぎの時代を担う子どもたちの教育には、できるだけ多くのお金をかけ、それぞれの個性を伸ばした人材が育つようにします。郷土をよく知り、地域の個性をとり入れ、「このまちが好き」という思いの子どもたちを育てます。

◎お勤め人ゆくり

よく眠れて身もこころも癒せるまち。お勤めの疲れをゆくりとほぐせるまちに。

◎弱い人ゆったり

社会的弱者(障害者、高齢者等)の声を継続的に聞いて福祉政策に反映できる、温かなしくみをつくり、歩道や公共施設を整備します(ノーマライゼーション)。

◎年輪はつらつ

年を重ねた方々が、元気に、家庭や地域、職場で、それまでに培い蓄えてきた智慧や体験を発揮して、社会に貢献できるようしくみをつくりまします。

◎支えあい、あったかく

医療と介護、ボランティアの連携システムを充実させ、在宅介護制度の充実を図ります(安否確認制度等)。介護保険をはじめ福祉政策のなかで見落とされがちな、介護者が安心して介護をつづけられるように、ケアする人の心身をケアする制度をもうけます。

つなぐ

《徹底した情報の共有を》

住民の素朴で新鮮な思いや願い、意見提言を、町政に繁栄できる、双方向型のしくみを作り、運営します。

◎まちづくり座談会の開催

できるだけ多く、自治会・コミュニティやテーマごとのまちづくり座談会を開き、町職員とともに向き合います。

◎分野別懇談会の充実

町政の各部門(総務文教、経済建設、社会衛生)の政策に、議員とともに住民が参画できる、継続的なしくみをつくりまします。

◎各団体の連携

JA、商工会をはじめ、各種団体やグループ、個人が交流する場と機会をつくり、それぞれがもつ力や情報を合わせて、大きな力にしていまします。

◎図書館の充実を図ります

小布施町は、長野県内でもっとも早い時期に公立図書館を開設しました。そのあり方、運営方法や場所などを再検討し、情報を受発信するセンターの機能、子どもから高齢者まで交流してつらつる文化サロンの広場としての図書館を、費用をかけずに充実させます。

◎通信制高校、大学講座、学会の誘致

小布施を、住む人だけではなく、国内外の人々にとってもより魅力的なまちにして、通信制高校の拠点(スクーリング)や大学の講義、各種学会を積極的に誘致します。

つくる

《交流産業の育成》

小布施は、果樹農業を基盤に発展してきました。野菜も含めた農産物の「小布施ブランド」を確立して、収益性の高い魅力ある産業にし、若者が喜んで参入できるように対策を進めます。田園や里山の風景を舞台にした「交流産業」をキーワードに、人々の交流を活発にして、農業・商業・工業が一体になった産業の振興を図ります。

◎減農薬農業

食と環境の安全・安心のため、減農薬農業を推進します。

◎適地適作農産物

小布施の風土に合った作物の情報を調査・導入し、栽培を奨励して「小布施ブランド」に育て、収益性の高い農業を推進します。

◎土地の有効活用

耕作する人と作物の両面から、遊休荒廃農地の有効活用策を検討し、具体化させます。大規模専業農家を育成する一方、本場ドイツのクラインガルテン(小さな農園)に学んで、家庭的な楽しい農業の指導育成を行います。

◎トップセールス

先頭を走るセールスマンとして、小布施産農産物を販売し、交流産業の振興に努めます。また地元の宿やレストラン、学校給食などでの活用を推進します。

◎商工業の振興

専門性、趣味性、特殊性、独創性の高い商業と工業を奨励します。町振興公社の事業をより活性化させ、収益の拡充を図ります。

《住む人が主役のまちづくり》

私たち小布施人の暮らしは、外の人があこがれ、高く評価していただけているほどに、魅力的でしょうか?ほっと癒される日々でしょうか?幸せでしょうか?市村良三は、小布施に暮らす「主役」の私たちみんなが、こころ豊かに生きられる小布施を、みなさんとともに創ってまいります。

◎農村景観と人口政策

「昔の、子どものころの小布施のほうがずっと美しかった」と感じている方も多くいます。より美しい小布施にするために、「景観」の約束事について、もう一度みんなで検討いたします。農業振興や田園景観に配慮しながら土地利用を再検討し、人口の課題にも取り組みます。

◎徹底した行財政改革

みなさんと話し合いながら、町三役のあり方を含む行財政改革を徹底的に進めます。

◎小布施の道を見直します

東西と南北の幹線道路の整備に伴い、行き先別に(町内か町外か)自動車の流れを効率よく誘導できるようしくみを導入します。手をつないで歩ける散策の道を、整えます。自動車、とくに大型バスを郊外の大型駐車場へ誘導し、大型駐車場から中心部への散策道を整備します。サイクリングに適したコースを設け、サイクリングをテーマにした人々の交流と産業を育成します。

◎災害に強い、安心と安全のまちを

自然災害のとき、総合公園や学校、福祉施設等が有効に機能するように、危機管理のシステムを構築します。

《ITの活用》

町政を推進するにあたり、行政運営や産業、教育などそれぞれの分野で、町職員や住民の力を生かして、IT(情報通信技術)をフルに活用いたします。